

関連する『つまずきポイント』

- ①自分の考えをもつこと
- ⑤目的や意図を意識して書くこと

## 書くこと領域

目的や意図を明確にして書くこと

に関するつまずき解消に向けた系統的な取組

### 丹波市立大路小学校の実践

第6学年 自分の考えが効果的に伝わるように、理由を明確にして根拠を挙げて書くこと

第5学年 目的に応じた小見出しを作り、自分の考えと区別して説明する文章を書くこと

第4学年 目的や表現の仕方の関係を考えて文章を書くこと

第3学年 自分の考えが明確になるように、考えと理由を整理して書くこと

第2学年 自分の考えを明確にしながら、場面のつながりを考えて文章を書くこと

第1学年 自分の考えを明確にしながら、調べたことをまとめること

	身に付けさせたい力の系統	各段階におけるつまずき
<b>高学年</b> (5・6年)	目的や意図に合った事実を選び、意見と区別して自分の考えを書くことができる。	事実や具体例、引用した内容と自分の意見が区別できない。
<b>中学年</b> (3・4年)	目的や必要に応じて理由や事例を挙げて、自分の考えを書くことができる。	目的や意図に合った理由や事例が挙げられない。
<b>低学年</b> (1・2年)	相手を意識して、伝えたい事柄や自分の考えを書くことができる。	伝えたい事柄を決められない。

## つまずき解消に向けた取組の視点

- ① **単元の目的や目標とする終末段階を導入段階で明確に示す。**  
→相手や目的や意図を意識しながら教材をとらえ、単元の見通しをもつことができるようになる。
- ③ **書く視点やヒントを示した上で、ワークシートなどに自分の考えをまとめる活動を取り入れる。**  
→目的や意図に沿った内容をまとめ、自分の考えを書くことができるようになる。
- ③ **めあてを確認し、振り返りを行う。**  
→めあてが達成できたか自己評価し、次への学びにつなげることができるようになる。

# 書くこと③

## 第1学年

自分の考えを明確にしなが、調べたことをまとめること

### つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。

自分が関心をもったことを感想として書き出していて、事柄ごとにまとめてかゝるたに書くという目的意識がもてていない。

ジェットきは、すごよ。大きくて、はやくとぶよ。ほくものつてみたいな。

でんしゃは、たくさんひとでいっぱいです。しゃしやうさんがいます。

乗り物の特徴や事実は書いているが、学習のめあてに則した内容を見つけたり、役目・つくり・できることを表す書き方で書いたりできない。

### 実践の概要

単元名

のりものかるたをつくろう

『いろいろなふね』東京書籍

目標 書かれている内容を事柄ごとに読み取り、わかったことや調べたことをまとめ、のりものかるたを作る。

- 内容
- 読み取ったり調べたりしたことを、事柄ごとにまとめたのりものかるたに書くという単元の見通しをもつ。
  - 書かれている内容を事柄(役目・つくり・できること)ごとに読み取り、大事な言葉を探して文章にまとめる。
  - 「のりものかるた」を作り、交流し振り返る。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容(単元名)		つまずきの実態
第6学年	自分の投書を新聞に投稿しよう	自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。
第5学年	「和の魅力リーフレット」を作ろう	目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。
第4学年	広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう	2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。
第3学年	理由がわかるように書こう	自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。
第2学年	絵を見てお話を作ろう	場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。
第1学年	のりものかるたをつくろう	調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。

### 単元末の目指す姿

- 調べたことを事柄ごとに整理でき、伝えたい内容が決められるようになる。
- 目的を意識しながら教材文を読み取るようになったり、教材文の事柄ごとの定型文を活用して文章が書けたりするようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

★主体的な学びにつながる実践

導入時に教師作成の成果物を提示し、わかったり調べたりしたことを事柄ごとにまとめたのりものかるたを作るという単元の終末段階を示す。

- 活動のねらい▶
- 目的意識や学習の見通しがもてる。
  - 目的的に教材をとらえ、事柄ごとに読み取ることができる。

ここがポイント

教材文で学習するかるたの内容や書き方、レイアウトなどがわかる成果物を提示し、学習への意欲付けや学習の見通しをもてるようにする。提示する成果物は言語活動のモデルとなり、いろいろな段階で、児童がどのように書けば良いのか考えられるようにする。

言語活動のモデル

つくり	ヤ	す	が	ん	ト
	が	。	や	ぼ	ラ
	大	う	す	や	ク
	き	し	た	は	タ
	い	ろ	め	た	ー
	よ	の	の	け	は
	。	タ	車	を	、
	イ	で	た	田	



(期待される児童の姿)

教師作成の成果物を提示することで、どんな学習をすることが、単元の見通しをもつことができ、毎時間の目的意識も明確にもてるようになるなど、主体的な学びにつながるができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

事柄ごとに色分けした穴埋め形式のワークシートを用いる。

- 活動のねらい▶
- 事柄ごとに内容を整理したり、事柄ごとの書き方を意識したりすることができる。

ここがポイント

「役目」「つくり」「できること」が書かれている段落の中で、それぞれ大事な言葉を穴埋めにしてワークシートを用意し、児童が事柄ごとの内容を考えられるようにする。また、その理由を話し合うことで事柄ごとの書き方にも気付くようにする。

穴埋め式のワークシート

			火	【やま】
	ま		じ	
	す	き	が	
	。		あ	
			る	
			と	
			、	
			、	
	ま	や		

			い	【つくり】
			ま	
			す	や
			。	
			を	

			め	【やく】
			の	
			ふ	
			ね	の
			で	
			す	を
			。	
			た	

(期待される児童の姿)

事柄ごとに色分けし、マス目を使った穴埋め式のワークシートに大事な言葉を書かせることで、事柄ごとに内容を整理できるようになる。

# 書くこと③

第2学年

自分の考えを明確にしながら、場面のつながりを考えて文章を書くこと

## つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。

様子が急に変わり、出来事をつなぐ言葉や次へ場面設定する書き出しの文がなく、前の場面とつながっていない。

野原の上をころがってあそびました。三人で楽しくあそんで帰りました。

「うん。あそぼう。」  
「うん。あそぼう。」  
「あひるくん、いつしよにあそぼう。」  
と言いました。あひるが、

「うん。あそぼう。」  
と言いました。  
「うん。あそぼう。」  
と言うと、うさぎが

次の場面へつながるような会話文や様子を表す文がない。

同じような会話文で、様子を表す表現も少ない。

## 実践の概要

単元名

絵を見てお話を作ろう

『絵を見てお話を作ろう』 東京書籍

目標 絵から場面の様子を想像し、一つ一つの場面がつながるように物語を書く。

- 内容
- 場面がつながるように物語を書くという単元の見通しをもつ。
  - 絵から場面の様子や人物を想像し、書きたい内容を明らかにする。
  - 書き出しの文や出来事をつなぐ言葉を使って、場面がつながるように物語を書く。
  - 物語を交流し合い、単元を振り返る。

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	自分の投書を新聞に投稿しよう	自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。
第5学年	「和の魅力リーフレット」を作ろう	目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。
第4学年	広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう	2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。
第3学年	理由がわかるように書こう	自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。
第2学年	絵を見てお話を作ろう	場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。
第1学年	のりものかるたをつくろう	調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。

## 単元末の目指す姿

- 場面の様子や人物について想像を広げ、物語を書くポイントを意識しながら、場面のつながりを考えて、書きたい内容を決めることができるようになる。
- 場面が変わるときに出来事をつなぐ言葉を活用したり、場面の書き出しや書き終わりに留意したりして、一つ一つの場面につながりがある物語を書くようになる。



つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

物語を書くポイントを提示し、場面の様子や人物などについて、話し合わせる。

活動のねらい▶ 場面の様子や人物について想像を広げ、自分の書きたい内容を明確にすることができる。

ここがポイント

「いつ」「どこで」「だれが」「したこと」「ようす」「気持ち」「話したこと」など物語を書く上で考えるポイントを書いた掲示物を提示し、児童が場面に応じて書く内容を落とさず考えられるようにする。

授業の様子

木にとてもたくさんのリングがなっていて、びっくりしているよ。

くまはたくさん持って帰ろうと、リュックサックを持っているよ。

うさぎが「おいしそう」、くまが「早くとろう。」と言っていると思うな。



(期待される児童の姿)

物語を書くポイントを提示し、それをもとに話し合うことで、考える視点をもつことができ、書きたい内容が明確にもてたり、物語の展開を見通したりできるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

書き出しの例や出来事をつなぐ言葉を提示し、ワークシートに場面の冒頭の一文を書かせる。

活動のねらい▶ 前の場面とつながるように次の場面を書き始めることができる。  
 ▶ 前の場面の文章を読み返し、次の場面へのつながりを考え直すことができる。

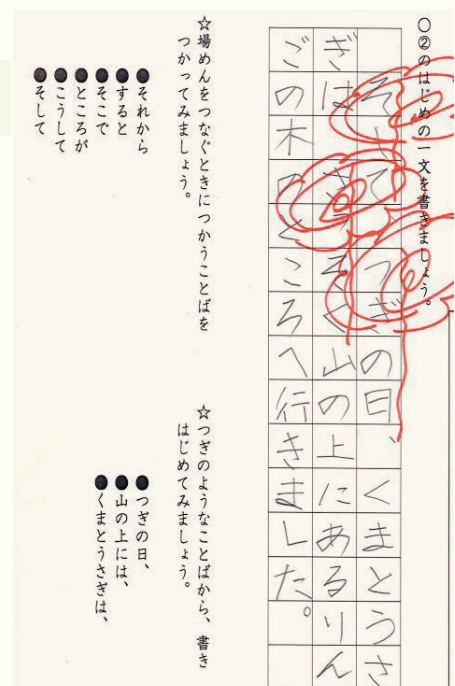
ワークシート

ここがポイント

【場面をつなぐ言葉：「それから」「すると」「ところが」など】、【場面の書き出しの言葉：「山の上には」「次の日」など】、場面の書き始めに使う言葉を提示し、児童がどの言葉を使えば場面がつながるか考えられるようにする。

(期待される児童の姿)

書き出しの例や出来事をつなぐ言葉をヒントに、ワークシートに場面の冒頭文を書き、交流する。聞き合うことで、場面のつながりに気付いたり、様子を表す言葉を書き加えたり、前の場面とのつながりを見直したりできるようになる。



# 書くこと③

第3学年

自分の考えが明確になるように、考えと理由を整理して書くこと

## つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。

なぜそう考えたのか、自分の考えの理由が明確でない。

似たような内容が並列して述べられている。

しょう。  
 みまでそうじをしま  
 みなさん、すみず  
 もいります。  
 も使います。ぞうきん  
 を使います。ちりとり  
 ぞうじではほうき  
 ました。  
 字を考え  
 表す絵文  
 そうじを  
 わたしは

「まず」や「次に」などの順序を表す言葉が使えていない。

「～から」「～ので」などの、理由を表す語句が使えていない。

## 実践の概要

単元名

理由がわかるように書こう

『理由がわかるように書こう』東京書籍

目標 自分で絵文字を考え、その考えと理由を整理して順序立てて説明する文章を書く。

内容 ・自分で絵文字を考えて、それを説明する文章を書くという単元のめあてをもつ。

- ・自分の考えを理由付けて順序立てて説明する書き方について学習する。
- ・絵文字を考え、説明する文章を書く。
- ・文章を交流し、単元を振り返る。

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	自分の投書を新聞に投稿しよう	自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。
第5学年	「和の魅力リーフレット」を作ろう	目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。
第4学年	広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう	2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。
第3学年	理由がわかるように書こう	自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。
第2学年	絵を見てお話を作ろう	場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。
第1学年	のりものかるたをつくろう	調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。

## 単元末の目指す姿

- ・多様な視点で考え、その理由を整理して書きまとめることができるようになる。
- ・自分の考えとその理由を、順序を表す接続詞や理由を表す言葉を使って、順序立てて説明する文章が書けるようになる。

### つまずき解消に向けた指導の工夫 ①




多様な視点で理由が書けるよう、絵文字をパーツに分けて、意味付けを考えさせる。

活動のねらい▶ 1つの絵文字に対して、多様な視点で考え、その理由を整理して書くことができる。

ここが  
ポイント

絵文字の一つ一つのパーツについて気付いたことから、何を表す絵文字か、その理由につながることを整理して書きまとめるようにする。

ワークシート

	理由③		理由②		理由①																																																																																																																																																																																																
<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																														<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																				<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																			絵文字の意味を考えよう(理由を3つあげて、そう考えた理由を書く)

(期待される児童の姿)

絵文字をパーツに分けることで、多様な視点で考え、考えた理由を整理して書くことができるようになる。

### つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

「はじめ、中、終わり」のまとめ、理由や順序を表す接続詞、考えと理由を書くときの文末表現など、表現の工夫を話し合ってみつけ出させる。

活動のねらい▶ 自分の考えを理由付けて順序立てて説明する書き方がわかる。

ここが  
ポイント

教科書の文章から理由を表すときに使う言葉や順序立てて説明するときに使う言葉、文章構成などを見つけるようにする。ペアで話し合わせた後、全体で出し合い、出てきた表現の工夫を一覧表にまとめることで、順序を意識しながら自分の文章に活用できるようにする。

授業の様子

説明するときには、「はじめ、中、終わり」のまとめを考えるのも大切だったね。

自分の考えを書くときは「～と思います。」や「～考えました。」という言葉を使うといいね。

「一つ目は」「二つ目は」という言葉を使うと、理由を整理して書きやすいな。

考えた理由を書くときに「～から」や「～ので」という言葉を使うといいね。

(期待される児童の姿)

理由付けて順序立てて説明する書き方がわかり、自分の文章にいかすことができるようになる。





つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

書かれている事柄の違いや表し方の工夫について話し合い、違いをわかりやすく板書で整理する。

活動のねらい ▶ 目的や意図に応じた取り上げ方の違いや表し方の工夫に気付くことができる。

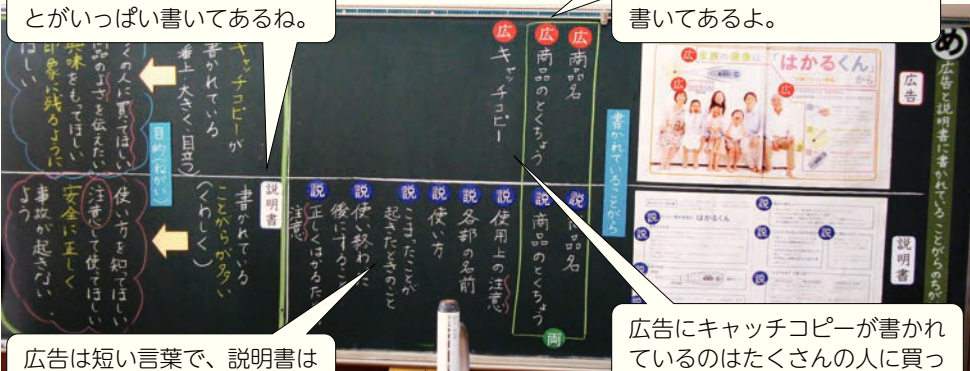
ここがポイント

広告と説明書の書かれている事柄や表し方について、読み取ったことを話し合わせる際、板書を上下に分け、広告と説明書を左右に分け、書かれている事柄と表し方の工夫について示すなど構造的に書きまとめ、それぞれの目的や書き手の意図に気付くようにする。

授業の様子

説明書には注意してほしいことがいっぱい書いてあるね。

広告は商品の特徴やキャッチコピー、商品のいいところが書いてあるよ。



広告は短い言葉で、説明書は詳しく書いてあるね。

広告にキャッチコピーが書かれているのはたくさんの人に買ってもらうためじゃないかな。

(期待される児童の姿)

書かれている事柄や表し方の工夫の違いを話し合わせ、板書で明確に整理することで、目的と表現のしかたの関係に気付くようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

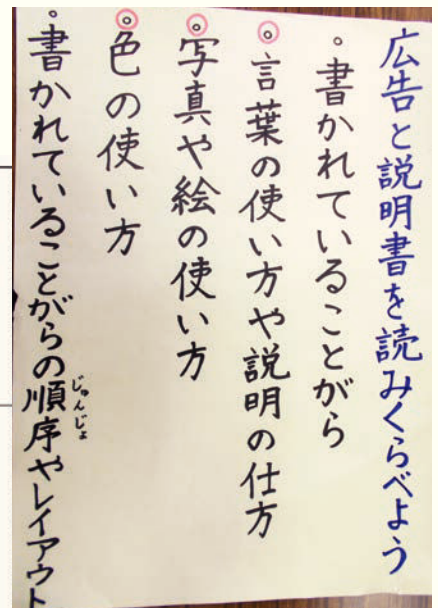
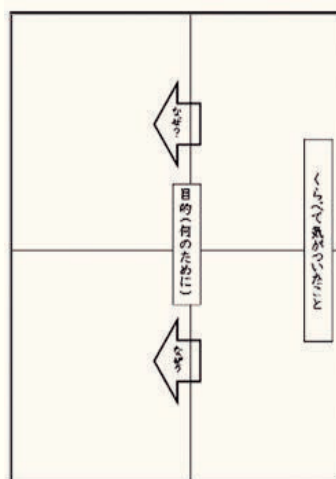
整理した内容からキーワードを提示し、そのキーワードを使って、目的と表し方の結び付きに気を付けながら、違いをワークシートにまとめさせる。

活動のねらい ▶ 2つの文章を読み比べ、目的と表し方の結び付きがわかるように、違いを文章にまとめることができる。

ここがポイント

板書と対応したワークシートを準備し、板書のキーワードを使って、目的による違いを書きまとめられるようにする。違いを書きまとめる観点を書いた掲示物を提示し、それぞれの観点から目的による違いをまとめられるようにする。

授業の様子



(期待される児童の姿)

板書で整理された内容を手がかりに違いを比べ、キーワードを提示することで、それぞれの表し方の違いに気を付けながら、まとめることができるようになる。

# 書くこと③

目的に応じた小見出しを作り、自分の考えと区別して説明する文章を書くこと

## つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。

和菓子に込められている願いや食べる日、和菓子の種類など目的に合った具体的な内容を選ばず、小見出しに沿った説明が書けない。

適切な資料を選べない。

す。られては願いに食へます。和菓子に年、中行事があるときと結びついているので、和菓子は年中行事のもの節句に食べる

キーワードを使って小見出しが書けない。

自分の考えを書き、願いの中身が書けていない。

## 実践の概要

単元名

「和の魅力リーフレット」を作ろう

『和の文化を受けつぐー和菓子やさぐる』東京書籍

目標 集めた情報を用いて、和の文化の魅力を表した小見出しとその説明が入った「和の魅力リーフレット」を書く。

- 内容
- 和の魅力を見つけ、その魅力をまとめたリーフレットを作成するという単元の見通しをもつ。
  - 魅力のを見つけ方、リーフレットの書き方を学ぶ。
  - リーフレットを交流し、単元を振り返る。

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	自分の投書を新聞に投稿しよう	自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。
第5学年	「和の魅力リーフレット」を作ろう	目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。
第4学年	広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう	2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。
第3学年	理由がわかるように書こう	自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。
第2学年	絵を見てお話を作ろう	場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。
第1学年	のりものかるたをつくろう	調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。

## 単元末の目指す姿

- 本文全体からキーワードを見つけ出し、小見出しが書けるようになる。
- 小見出しに沿った内容について、目的に合った具体的な説明や適切な資料を入れながら文章を書くことができる。



## つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

読み取った和菓子の魅力を板書で整理し、キーワードから小見出しを作り、グループで吟味する活動を取り入れる。

活動のねらい▶ 文全体からキーワードを見つけ、目的に応じた小見出しを書くことができる。

### ここがポイント

和菓子の魅力のを見つけ方とその理由の述べ方、キーワードのを見つけ方（何度も出てくる言葉、題名と関連のある言葉、問いに対する答えの段落に出てくる言葉）を事前に指導することで、「・・・和菓子」の言葉で作った小見出しをグループで吟味する際、どの言葉を使えばよいのか考えられるようにする。

### 授業の様子

年中行事という言葉が何度も出てきたね。

願いがこめられていることは魅力だけど、小見出しでなく説明で書いたらいいかなあ。

答えの段落に「年中行事」「茶道」という言葉があるよ。

#### (期待される児童の姿)

自分が和菓子の魅力だと思った理由を明確にしてから交流することで、キーワードを見つけやすくなり目的に応じた小見出しを作ることができるようになる。

## つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

小見出しに沿って説明する内容や資料はどのようなものが適切か話し合い、自分のリーフレットにいかすようにする。

活動のねらい▶ 小見出しに沿った説明を自分の考えと区別し、目的に合った内容や適切な資料を入れながら書くことができる。

### ここがポイント

事前に下記のような文章や資料について全体で比較させることで、どんな説明の文章や資料が良いのか、考えられるようにする。

- 感想や考えが書いてある文と小見出しの説明が書いてある文。
- 表や写真など資料を効果的に使っているものと無いもの。

### 授業の様子

この具体例と写真を入れて説明しよう。

歴史の説明は年表を入れるといいな。

#### (期待される児童の姿)

説明する内容や資料について話し合うことで、小見出しに沿った内容や資料を考えながらリーフレットを作ることができるようになる。



# 書くこと③

自分の考えが効果的に伝わるように、理由を明確にして根拠を挙げて書くこと

## つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。

自分の主張に沿った理由は述べているが、その理由「人の勝手な行動で命を奪われるのはおかしいことへの根拠ではなく、自分の思いを述べている。」

私、犬の殺処分は反対です。それは、人の勝手な行動で命を奪われるのはおかしいと思うからです。例えば、私の家の犬はともかわいいのに、殺されるなんてかわいそうです。

理由

## 実践の概要

単元名

自分の投書を新聞に投稿しよう

『新聞の投書を読み比べよう』東京書籍

目標 自分の主張が伝わるように、理由を明確にして根拠を挙げて投書を書く。

- 内容
- 理由とその根拠を明確にして自分の主張を投書するという単元の見通しをもつ。
  - 自分の主張に沿った理由とその根拠の挙げ方、書き方など読み手を説得するための工夫を学ぶ。
  - 主張を明確にし、理由とその根拠を挙げて投書を書く。
  - 投書を交流し、新聞社へ送り、単元を振り返る。

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容（単元名）		つまずきの実態
第6学年	自分の投書を新聞に投稿しよう	自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。
第5学年	「和の魅力リーフレット」を作ろう	目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。
第4学年	広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう	2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。
第3学年	理由がわかるように書こう	自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。
第2学年	絵を見てお話を作ろう	場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。
第1学年	のりものかるたをつくろう	調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。

## 単元末の目指す姿

- 自分の主張に適した理由や根拠になっているか確認しながら文章を書くようになる。
- 理由と根拠のつながりを意識し、適切な接続詞を使って自分の投書を書くことができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

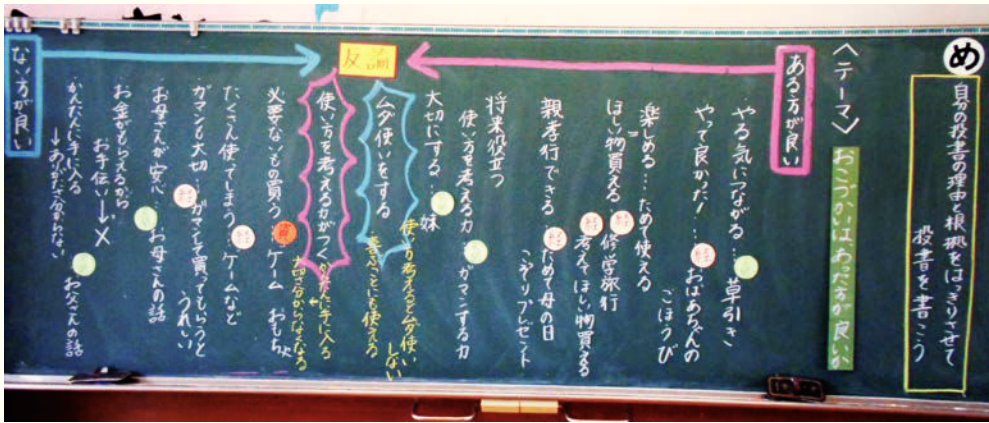
主張に対する理由とその根拠の示し方についての意見のつながりがわかるように板書で整理する。

活動のねらい ▶ 自分の主張に沿った理由とその根拠を明確にすることができる。

ここがポイント

それぞれの主張の理由となる考えに説得力をもたせる根拠がわかるよう、挙げた根拠の具体例（経験・見聞・資料・言葉）を理由と共に板書で整理し、理由と根拠の違いを視覚的に認識しながら、2つをつなげてとらえられるようにする。

授業の様子



(期待される児童の姿)

主張に対する様々な理由と根拠を聞くことで、自分の主張に沿った理由と根拠のつながりについて、再考できるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

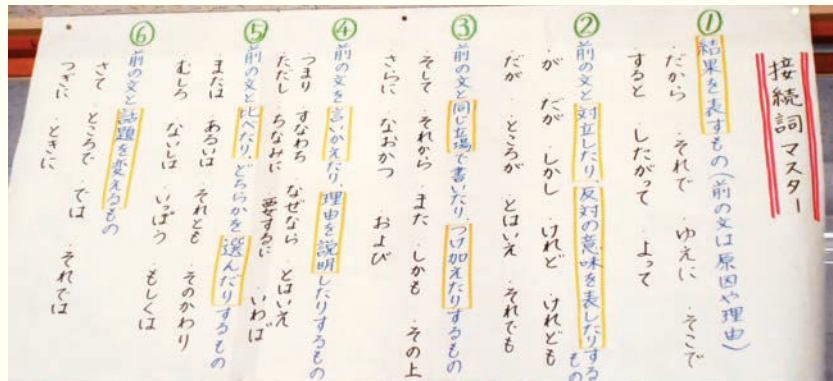
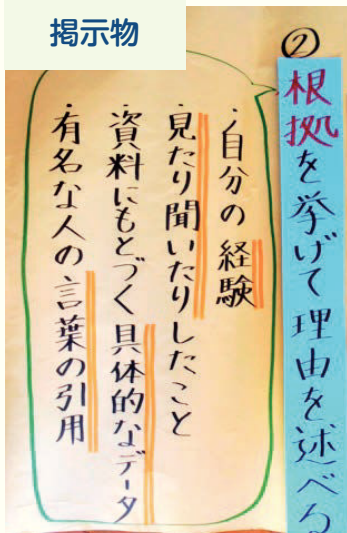
根拠として挙げられる内容の例、理由や根拠を書く際の接続詞等を提示し、活用させる。

活動のねらい ▶ 理由と根拠のつながり、文と文のつながりなどを意識して書くことができる。

ここがポイント

根拠の例（経験、見聞、資料、引用文）や原因及び理由を示すときの接続詞（「だから」「したがって」）等を示し、児童が投書を書く時や読み返す際に、どの根拠を使えば自分の主張に沿った理由と根拠になるのか、どの接続詞を使えば文と文がつながり、読み手を説得できるのか考えられるようにする。

掲示物



(期待される児童の姿)

提示された根拠の例等を参考にすることで、理由と根拠のつながりや読み手を説得する述べ方を意識して投書を書くことができるようになる。